



内閣府



「イノベーションによる課題解決の実現」

科学技術イノベーションは、成長戦略の重要な柱と位置付けられており、経済成長の原動力、活力の源泉であり、社会の在り方を大きく変える力を持ちます。

科学技術、特に情報通信技術の飛躍的な発展により、あらゆるものが相互に結びつき、情報が共有され、相互に影響を及ぼし合う世界へと加速度的に移行しつつあります。

これまでの既存の枠組みを超えて、新たな価値が生み出される中、価値や知識の創造プロセスが大きく変化し、経済や社会の在り方、産業の構造が急速に大きく変化する大変革時代が到来しています。

また、我が国の国際競争力を強化し、持続的な発展を実現していくためには、新しいことに果敢に挑戦し、新たな価値を積極的に生み出していくことが一層重要になっています。

この大変革時代を科学技術イノベーションによって、さまざまな課題を解決するとともに、我が国の産業競争力の強化を図ることは、政府の最重要課題の一つです。

これら課題の解決を目指して、総合科学技術・イノベーション会議では、戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)を平成26年度に創設しました。

SIPとは、総合科学技術・イノベーション会議が自らの司令塔機能を発揮して、府省の枠や旧来の分野の枠を超えたマネジメントに主導的な役割を果たし、科学技術イノベーションを実現するための国家プロジェクトです。

SIPでは、あるべき経済・社会システムを構想し、国民にとって真に重要な課題を基礎研究から実用化・事業化、まさに出口までを見据えて一貫通貫で研究開発を推進することにより、システム全体で醸成する価値を見定め、どこで産業競争力を生み出していくのか、官民一体で共通認識を持って取り組むことが必要です。

新しい取組や大規模な研究開発その他の国家的に重要な研究開発の評価などを含め、あらゆる政策ツールを活用し、引き続き、関連省庁と予算調整を図るとともに、時間軸を意識しつつ、先見性や機動性を持って府省庁の枠を超えた政策誘導を行い、一日でも早く成果が得られるよう政府としても、引き続きSIPを精力的に推進し、科学技術イノベーションによる我が国の経済成長の実現を目指します。

今後の活躍にご期待ください。

2015年10月15日

科学技術政策担当大臣

島尻 昌子